

平成28年4月28日 20時00分
国土交通省中部地方整備局
応援対策本部

「平成28年熊本地震」への中部地方整備局の対応（第11報） ～TEC-FORCEが緊急調査・点検結果を熊本県知事等に報告～

- 中部地方整備局は、4月16日より熊本県熊本地方を震源とする地震災害を支援するため、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）39名【4/28（リエゾン含む）】を派遣しています。なお、隊員は随時交代しながら現地での活動を継続しています。
- 河川の被災調査及び土砂災害危険箇所の緊急調査・点検結果を熊本県に報告
- 土砂災害危険箇所の点検結果を13市町村へ報告
- TEC-FORCE 活動記録や対応状況等をホームページに掲載しております。

1.（1）河川の被災調査及び土砂災害危険箇所の緊急調査・点検結果を熊本県に報告

・熊本県からの要請を受け、全国から派遣された国土交通省TEC-FORCEが実施した、県が管理する河川の被災調査及び土砂災害危険箇所の緊急点検結果を4月28日に熊本県知事に報告しました。この報告者の一員として、中部地方整備局のTEC-FORCE隊員も参加しました。

日時：平成28年4月28日（木）
15：30～

場所：熊本県庁
※詳細は、別紙1を参照願います。



（2）土砂災害危険箇所の点検結果を13市町村へ報告

・熊本県からの要請を受け、全国から派遣された国土交通省TEC-FORCEが実施した、土砂災害危険箇所の緊急点検結果を4月28日に13市町村に報告しました。中部地方整備局はこのうち、熊本市、大津町、阿蘇市への報告を実施しました。

【熊本市】

日時：平成28年4月28日（木）
場所：熊本市役所 13：05～
対応者：副市長

【阿蘇市】

日時：平成28年4月28日（木）
場所：阿蘇市役所 9：00～
対応者：副市長

※詳細は、別紙2を参照願います。



【大津町】

日時：平成28年4月28日（木）
場所：大津町役場 10：00～
対応者：大津町長

2. 中部地方整備局からの派遣状況（平成28年4月28日現在）

○リエゾン（情報連絡員） 1班2名（本局、木曽川上流河川事務所）

派遣先：西原村役場（熊本県阿蘇郡西原村）

○TEC-FORCE 合計37名

総括班 1班5名（本局）

道路調査班 2班8名（本局・名四国道事務所・岐阜国道事務所・高山国道事務所・多治見砂防国道事務所・三重河川国道事務所・紀勢国道事務所）

砂防調査班 2班8名（富士砂防事務所・天竜川上流河川事務所）

土砂災害対策

アドバイザー班 2班6名（本局・木曽川上流河川事務所・越美山系砂防事務所・豊橋河川事務所・静岡河川事務所）

河川調査班 1班4名（本局）

情報通信班 2班3名（本局・名古屋国道事務所）

建築物判定班 1班3名（本局・静岡営繕事務所）

○災害対策車両 合計6台

待機支援車 2台（中部技術事務所・木曽川下流河川事務所）

無人バックホウ 2台（中部技術事務所）

衛星通信車 2台（中部技術事務所・沼津河川国道事務所）

※下線は第9報からの変更箇所

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局

応援対策本部 広報担当 052-953-8256

平成 28 年 4 月 27 日
九州地方整備局
16 時 00 分

<平成 28 年熊本地震に関する取り組み>

TEC-FORCEが緊急調査・点検した成果を

熊本県知事に報告

●熊本県熊本地方で発生した地震により、熊本県が管理する河川においても多くの箇所では被災し、また、山間部においても、崩壊や地すべり等が多く発生しています。

●国土交通省では、熊本県からの調査要請を受け、今後の警戒避難、応急的な対応に資することを目的に国土交通省TEC-FORCEを派遣し、県が管理する河川の被災調査及び土砂災害危険箇所の緊急点検を実施しました。^{*1}

●調査・点検が完了し、その成果を知事に報告するものです。^{*2}

【日 時】平成 28 年 4 月 28 日（木）15：30～

【場 所】熊本県庁舎 知事応接室

【報告者】※TEC-FORCE隊員

（北海道開発局、東北地方整備局、関東地方整備局、北陸地方整備局、中部地方整備局、近畿地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局の職員）

※国土技術政策総合研究所の土砂災害専門家

※国立研究開発法人土木研究所の土砂災害専門家

●また、知事への報告終了後に、記者説明会を行います。

【日 時】平成 28 年 4 月 28 日（木）16：00～（予定）

※場所、説明者は知事報告会と同じ

*1 調査の概要① 参照

*2 調査の概要② 参照

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部

①県管理河川の調査関係 水災害予報センター長 鶴崎 秀樹 090-5289-2240（携帯）

②土砂災害危険箇所の点検関係 河川部 地域河川課長 鹿毛 英樹 090-7989-5910（携帯）

③TEC-FORCE関係 緊急災害対策調整官 永利 信太郎 090-3072-6055（携帯）

熊本県管理河川の緊急調査実施概要

国土交通省 TEC-FORCE による熊本県管理河川における被災状況調査について
～応急対策や早めの避難に繋がる取り組みへの活用が図られます～

<概要>

「平成28年熊本地震」により、熊本県が管理する河川において、多くの被害が発生しております。
熊本県からの調査要請に基づき、今後の警戒避難、応急的な対応に資することを目的に国土交通省 TEC-FORCE による被災状況調査を実施しました。

1. 調査期間

平成28年4月21日（木）～4月27日（水）

2. 調査体制

北海道開発局、東北地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、近畿地方整備局、中国地方整備局の緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）職員

3. 調査内容

（1）調査対象箇所

熊本県阿蘇地域振興局、上益城地域振興局、八代地域振興局管内の
17河川と5砂防溪流（調査延長107.6km）において実施
（阿蘇市、西原村、嘉島町、益城町、御船町、八代市）

（2）調査内容

- ・河川堤防の変状
- ・河川護岸の変状
- ・河道内における土砂、流木の堆積状況

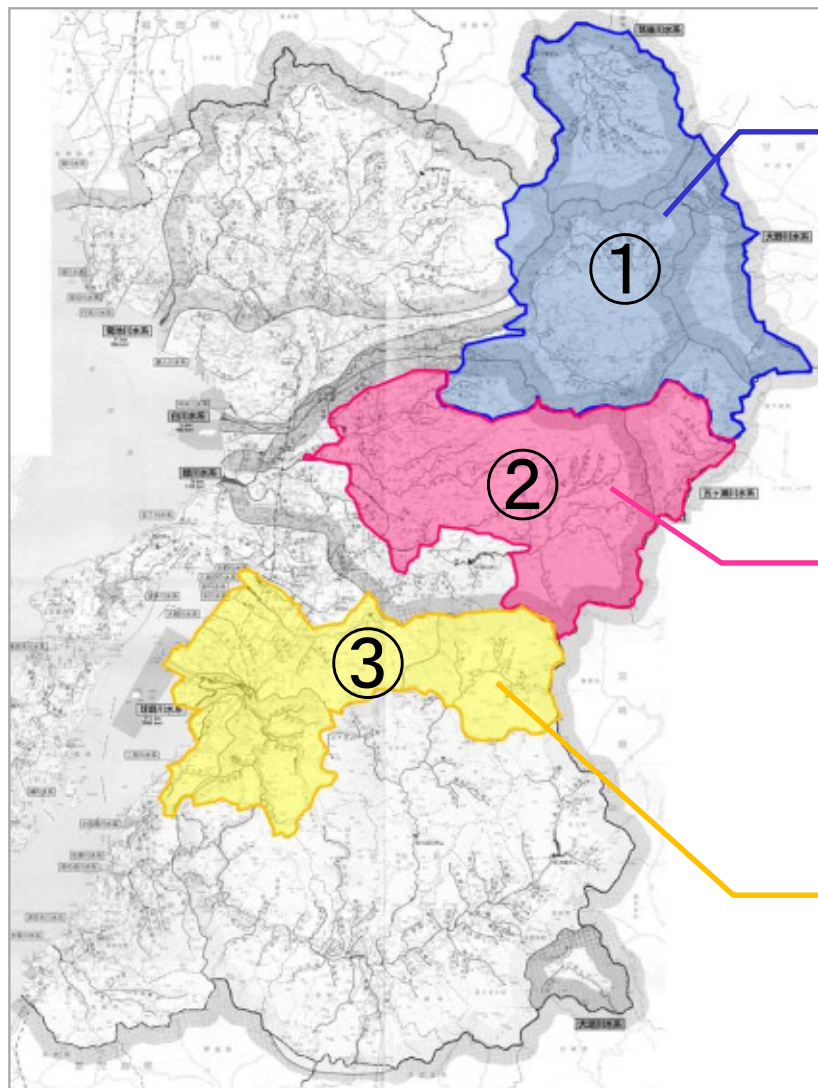
4. 調査結果

- ・被災が確認された箇所において詳細調査を実施し、調査結果のとりまとめと併せて、復旧工法に関する提案・助言を実施。

※具体的な被災箇所数については、精査中の為、当日公表します。

TEC-FORCEによる熊本県管理河川の調査概要

- ◆平成28年4月21日より、国土交通省TEC-FORCE隊のべ9班（北海道（4班）、東北、関東、中部、近畿、中国）計40名による被災状況調査を実施。
- ◆熊本県内の17河川、5砂防溪流、延長107.6kmについて「①被災状況の把握」「②被害発生拡大の防止」「③応急復旧等に関する技術的支援」を実施。



①阿蘇地域振興局管内

調査箇所：黒川ほか7河川

（黒川・布田川上流・鳥子川・乙姫川・花原川・今町川・東岳川・黒戸川）

調査延長：40.4km

調査班：北海道TEC（2班）、東北TEC／計24名

②上益城地域振興局管内

調査箇所：秋津川ほか8河川、5砂防溪流

（加勢川・矢形川・木山川・岩戸川・赤井川・秋津川・畑中川・金山川・
布田川下流・吹上川・小谷川・長迫間川・高谷川・杉溪川）

調査延長：57.4km

調査班：関東TEC、中部TEC、近畿TEC、
中国TEC／計16名

③八代地域振興局管内

調査箇所：大鞘川

調査延長：9.8km

調査班：関東TEC／計4名

※23日に調査完了し、上益城地域振興局管内の調査を実施

TEC-FORCEによる調査状況(阿蘇地域振興局管内)

①阿蘇地域振興局管内【北海道開発局、東北地整TEC のべ計24名により調査】

- ・調査対象：8河川（黒川、布田川上流、鳥子川、乙姫川、花原川、今町川、東岳川、黒戸川）
- ・調査結果：40.4kmの概査及び被災箇所について、調査報告、復旧工法の提案・助言を実施



②上益城地域振興局管内【関東地整TEC、近畿地整TEC、中部地整TEC、
中国地整TEC 計16名により調査】

- ・調査対象：9河川（加勢川、矢形川、木山川、岩戸川、赤井川、秋津川、畑中川、金山川、布田川下流）
5砂防溪流（吹上川、小谷川、長迫間川、高谷川、杉溪川）
- ・調査結果：57.4kmの概査及び被災箇所について、調査報告、復旧工法の提案・助言を実施



③八代地域振興局管内【関東地整TEC 計4名により調査】

- ・調査対象：1河川（大鞘川）
- ・調査結果：9.8kmの概査及び被災箇所について、調査報告、復旧工法の提案・助言を実施



土砂災害危険箇所の緊急点検実施概要

『土砂災害現地調査チーム』による土砂災害危険箇所の緊急点検結果について
～二次災害の防止や警戒避難体制への活用が図られます～

<目的>

熊本県からの要請を受けて、「平成28年熊本地震」後のさらなる土砂災害の防止、及び今後の警戒避難、応急的な対応に資することを目的に、緊急度の高い危険箇所に対し、TEC-FORCE（土砂災害現地調査チーム）による土砂災害危険箇所の緊急点検を実施しました。

1. 点検期間

平成28年4月19日（火）～4月27日（水）

2. 点検体制

北海道開発局、関東地方整備局、北陸地方整備局、中部地方整備局、近畿地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局の各緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人土木研究所の土砂災害専門家

3. 点検内容

（1）点検対象箇所

震度6強以上を記録した市町村を中心に、緊急度の高い危険箇所 約1,100箇所
（熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、大津町、菊陽町、産山村、西原村、南阿蘇村、嘉島町、益城町）

（2）調査内容

- ・河道閉塞や崩壊、地すべりの発生状況
- ・溪流内における不安定な土砂、流木の堆積状況
- ・人家周辺の斜面の変状（崩壊の発生等）

4. 点検結果

（1）地上調査又はヘリ調査により各危険箇所について、下記の『危険度』を評価しました。

A：応急的な対策が必要な箇所

B：当面巡視等の警戒の強化が必要な箇所

C：特に変化はなく緊急度は低いが、降雨状況によっては注意を要する箇所

（2）点検結果

土石流危険溪流

地すべり危険箇所

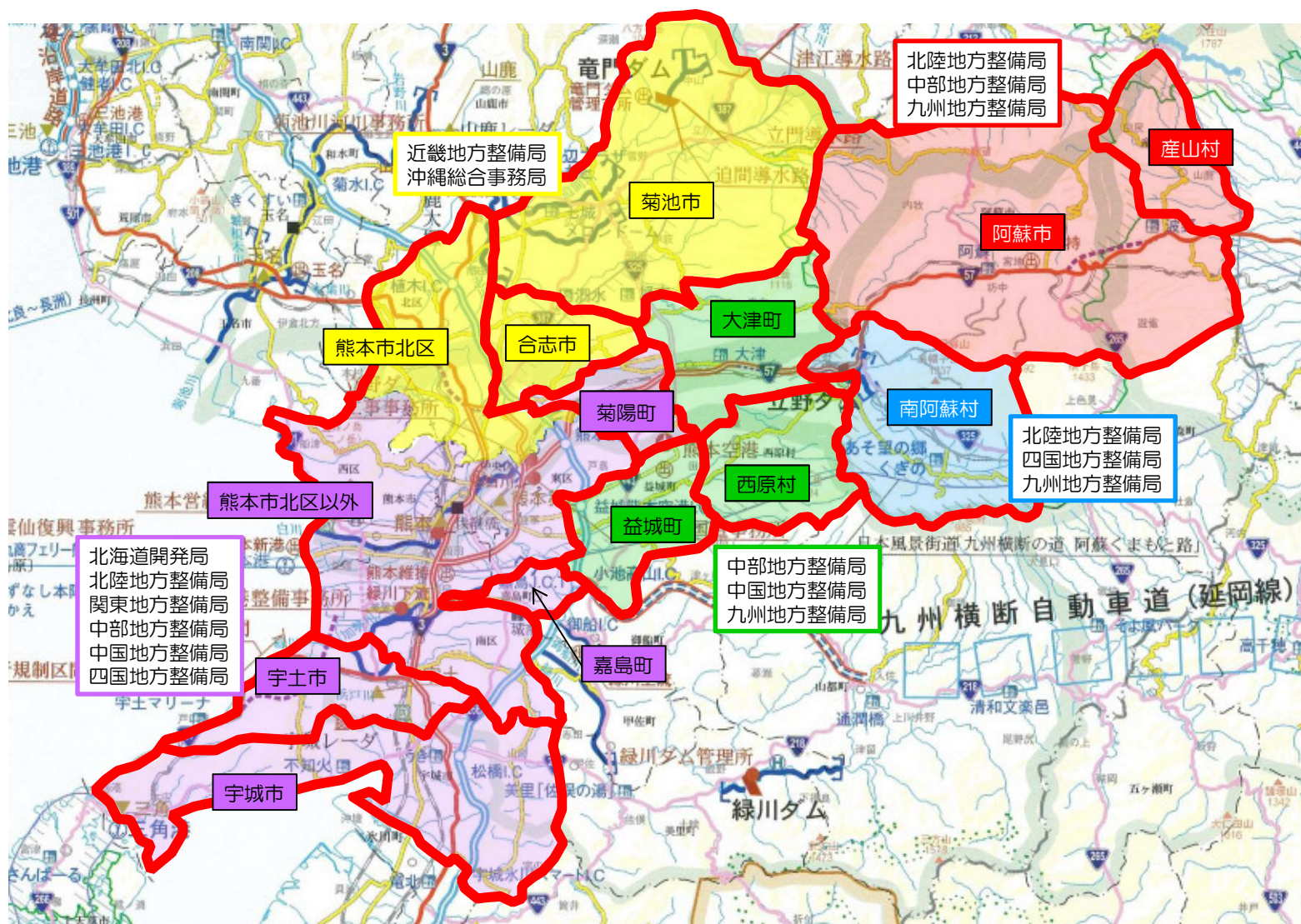
急傾斜地崩壊危険箇所

} ※ABC評価については、精査中の為、当日公表します。

※本調査は一定の保全対象を有する土砂災害危険箇所の調査を優先して実施したものであり、本調査対象箇所以外においても崩壊等のおそれがありますので御注意願います。

TEC-FORCEによる土砂災害危険箇所の緊急点検概要

「平成28年熊本地震」後のさらなる土砂災害の防止、及び今後の警戒避難、応急的な対応に資することを目的に、熊本県の要請を受けて緊急度の高い危険箇所に対し、TEC-FORCE(土砂災害現地調査チーム)による土砂災害危険箇所の緊急点検を実施しました。



TEC-FORCEによる緊急点検状況

北海道開発局提供



関東地方整備局提供



北陸地方整備局提供

TEC-FORCEによる緊急点検状況



TEC-FORCEによる緊急点検状況

四国地方整備局提供



沖縄総合事務局提供



九州地方整備局

2016 4 20 10:35

【 参 考 】

緊急災害対策派遣隊（ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ）とは

■目 的

ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

■主な任務

被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

- ①被災状況の迅速な把握
- ②被害の発生及び拡大の防止
- ③被災地の早期復旧



平成28年 4 月 27 日
九州地方整備局

国土交通省 T E C－F O R C E による熊本県管理河川 (阿蘇地域振興局管内) における被災状況の調査成果を 報告します。

熊本地震により熊本県が管理する河川においても多くの被害が発生しています。国土交通省は熊本県から「九州地方における大規模な災害時の応援に関する協定」に基づく要請を受け全国各地から集結した T E C－F O R C E により被災状況調査を実施しています。

このうち、阿蘇地域振興局管内河川の被災箇所の調査が終了し、成果報告を下記のとおり行います。

【日時】

4 月 28 日 (木) 9 時 00 分

【場所】

阿蘇地域振興局 1 階中会議室

【報告者】

- ・北海道開発局 T E C－F O R C E
高柳(タカヤギ) 班長 他 班員 3 名
成田(ナリタ) 班長 他 班員 3 名
 - ・東北地方整備局 T E C－F O R C E
宍戸(シト) 班長 他 班員 4 名
- 総員 1 3 名

【成果受取者】

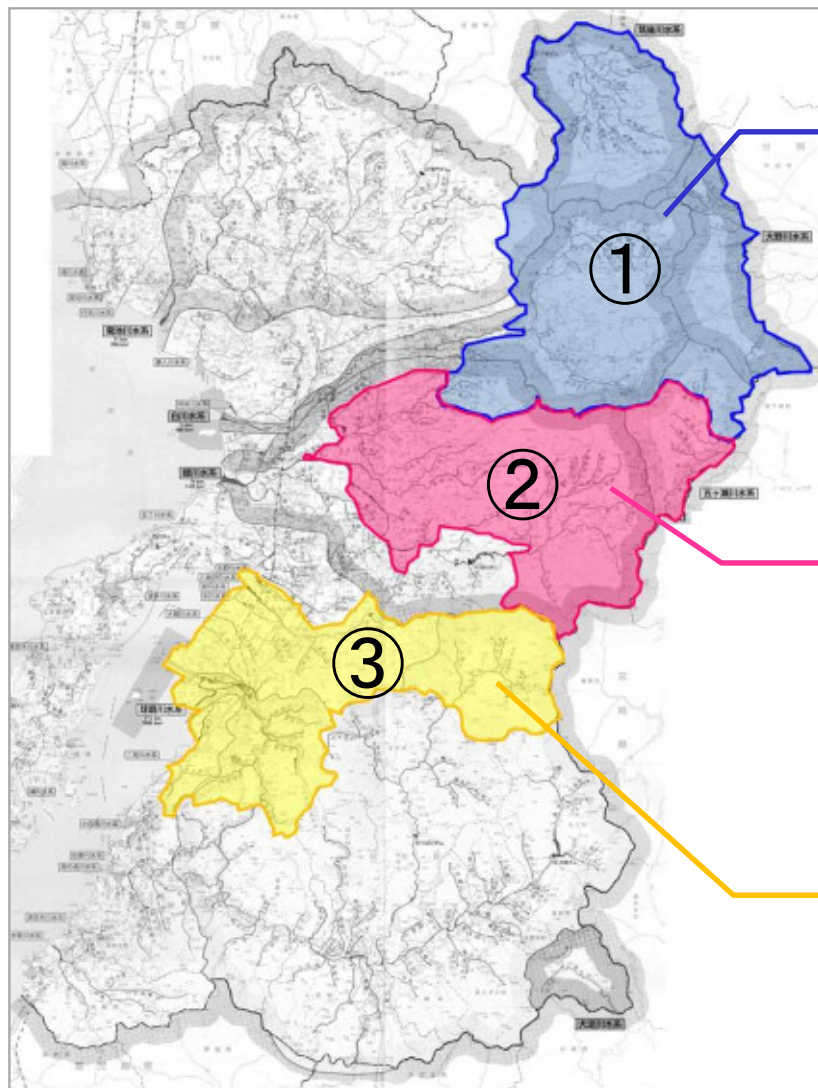
- ・阿蘇地域振興局
坂井(サカイ) 土木部長

【TEC－FORCE（緊急災害対策派遣隊）に関する情報URL】
http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/tecforce/tecforce_index.htm

【問い合わせ先】 国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部
水災害予報センター長 鶴崎 秀樹（つるさき ひでき）
携帯：090－5289－2240
電話：092－707－0110（直通）

TEC-FORCEによる熊本県管理河川の調査概要

- ◆平成28年4月21日より、国土交通省TEC-FORCE隊のべ9班（北海道（4班）、東北、関東、中部、近畿、中国）計40名による被災状況調査を実施。
- ◆熊本県内の17河川、5砂防溪流、延長107.6kmについて「①被災状況の把握」「②被害発生拡大の防止」「③応急復旧等に関する技術的支援」を実施。



①阿蘇地域振興局管内

調査箇所：黒川ほか7河川

（黒川・布田川上流・鳥子川・乙姫川・花原川・今町川・東岳川・黒戸川）

調査延長：40.4km

調査班：北海道TEC（2班）、東北TEC／計24名

②上益城地域振興局管内

調査箇所：秋津川ほか8河川、5砂防溪流

（加勢川・矢形川・木山川・岩戸川・赤井川・秋津川・畑中川・金山川・
布田川下流・吹上川・小谷川・長迫間川・高谷川・杉溪川）

調査延長：57.4km

調査班：関東TEC、中部TEC、近畿TEC、
中国TEC／計16名

③八代地域振興局管内

調査箇所：大鞘川

調査延長：9.8km

調査班：関東TEC／計4名

※23日に調査完了し、上益城地域振興局管内の調査を実施

TEC-FORCEによる調査状況(阿蘇地域振興局管内)

①阿蘇地域振興局管内【北海道開発局、東北地整TEC のべ計24名により調査】

- ・調査対象：8河川（黒川、布田川上流、鳥子川、乙姫川、花原川、今町川、東岳川、黒戸川）
- ・調査結果：40.4kmの概査及び被災箇所について、調査報告、復旧工法の提案・助言を実施





平成28年 4 月 27 日
九州地方整備局

国土交通省 T E C－F O R C E による熊本県管理河川 (上益城地域振興局管内) における被災状況の調査成果 を報告します。

熊本地震により熊本県が管理する河川においても多くの被害が発生しています。国土交通省は熊本県から「九州地方における大規模な災害時の応援に関する協定」に基づく要請を受け全国各地から集結した T E C－F O R C E により被災状況調査を実施しています。

このうち、上益城地域振興局管内河川の被災箇所の調査が終了し、成果報告を下記のとおり行います。

【日時】

4 月 28 日 (木) 13 時 00 分

【場所】

上益城地域振興局土木部 2 階会議室
(旧矢部土木事務所：山都町下馬尾)

【報告者】

- ・ 中部地方整備局 T E C－F O R C E
青島(アオシマ) 班長 他 班員 3 名
- ・ 近畿地方整備局 T E C－F O R C E
星原(ホシハラ) 班長 他 班員 3 名
- ・ 中国地方整備局 T E C－F O R C E
末永(スエナガ) 班長 他 班員 3 名

総員 1 2 名

【成果受取者】

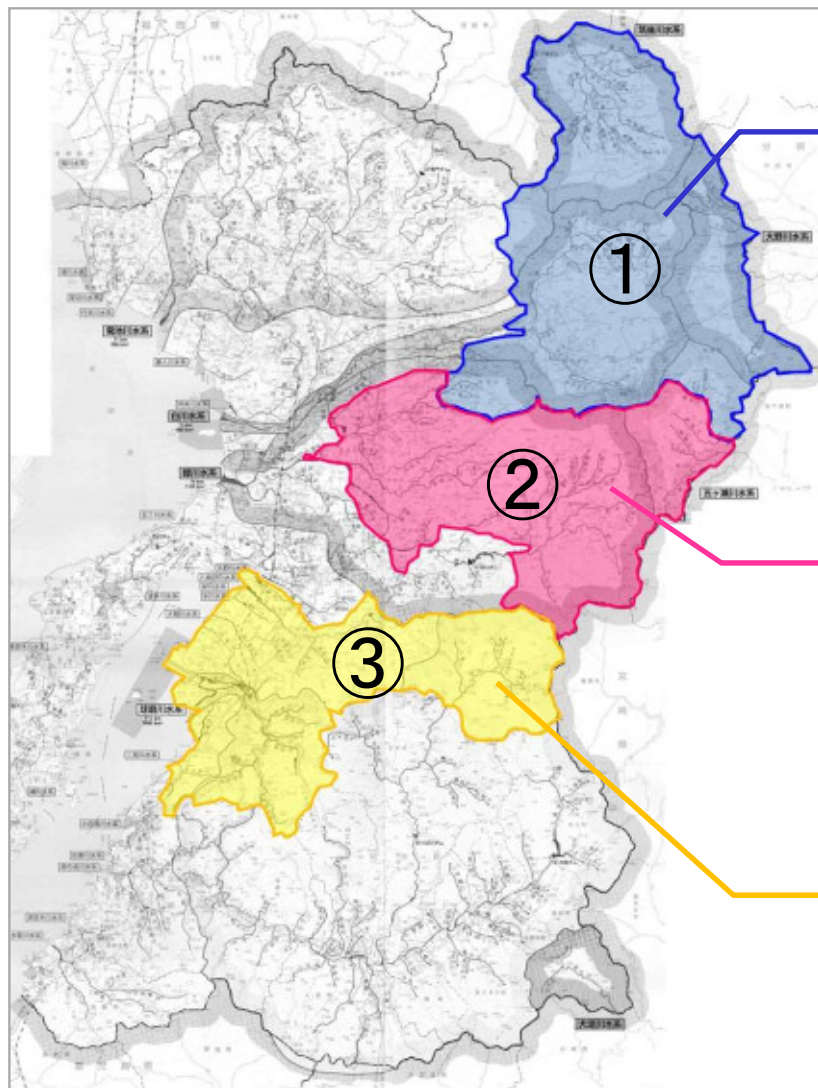
- ・ 上益城地域振興局
吉ヶ嶋(ヨシガシマ) 土木部長

【TEC－FORCE (緊急災害対策派遣隊) に関する情報 URL】
http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/tecforce/tecforce_index.htm

【問い合わせ】 国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部
水災害予報センター長 鶴崎 秀樹 (つるさき ひでき)
携帯：090－5289－2240
電話：092－707－0110 (直通)

TEC-FORCEによる熊本県管理河川の調査概要

- ◆平成28年4月21日より、国土交通省TEC-FORCE隊のべ9班（北海道（4班）、東北、関東、中部、近畿、中国）計40名による被災状況調査を実施。
- ◆熊本県内の17河川、5砂防溪流、延長107.6kmについて「①被災状況の把握」「②被害発生拡大の防止」「③応急復旧等に関する技術的支援」を実施。



①阿蘇地域振興局管内

調査箇所：黒川ほか7河川

（黒川・布田川上流・鳥子川・乙姫川・花原川・今町川・東岳川・黒戸川）

調査延長：40.4km

調査班：北海道TEC（2班）、東北TEC／計24名

②上益城地域振興局管内

調査箇所：秋津川ほか8河川、5砂防溪流

（加勢川・矢形川・木山川・岩戸川・赤井川・秋津川・畑中川・金山川・
布田川下流・吹上川・小谷川・長迫間川・高谷川・杉溪川）

調査延長：57.4km

調査班：関東TEC、中部TEC、近畿TEC、
中国TEC／計16名

③八代地域振興局管内

調査箇所：大鞘川

調査延長：9.8km

調査班：関東TEC／計4名

※23日に調査完了し、上益城地域振興局管内の調査を実施

②上益城地域振興局管内【関東地整TEC、近畿地整TEC、中部地整TEC、
中国地整TEC 計16名により調査】

- ・調査対象：9河川（加勢川、矢形川、木山川、岩戸川、赤井川、秋津川、畑中川、金山川、布田川下流）
5砂防溪流（吹上川、小谷川、長迫間川、高谷川、杉溪川）
- ・調査結果：57.4kmの概査及び被災箇所について、調査報告、復旧工法の提案・助言を実施



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



平成 28 年 4 月 27 日

九州地方整備局

16時00分

【平成 28 年熊本地震対応】

『TEC-FORCE（土砂災害現地調査チーム）』により実施した
土砂災害危険箇所の点検結果を 13 市町村へ報告します

○熊本県からの要請を受けて、「平成 28 年熊本地震」後のさらなる土砂災害の防止、及び今後の警戒避難、応急的な対応に資することを目的に、緊急度の高い危険箇所に対し、TEC-FORCE（土砂災害現地調査チーム）による土砂災害危険箇所の緊急点検を実施しました。

○土砂災害危険箇所の点検結果について、TEC-FORCE（土砂災害現地調査チーム）が、4 月 28 日（木）に市町村へ報告します。

1. 点検期間

平成 28 年 4 月 19 日（火）～4 月 27 日（水）

2. 点検体制（土砂災害現地調査チーム）

北海道開発局、関東地方整備局、北陸地方整備局、中部地方整備局、近畿地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局の各緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）職員、国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人土木研究所の土砂災害専門家

3. 報告日時、場所、報告者市町村対応者

別紙のとおり

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 河川部

地域河川課長 鹿毛 英樹

電話：090-7989-5910（携帯）

土砂災害危険箇所点検結果 TEC－FORCE(土砂災害現地調査チーム)市町村報告
 ■4月28日(木)

	市町村名	市町村対応者※1	点検結果報告者	時間
1	熊本市	副市長(2名)、危機管理監	北海道、関東、中部、近畿、中国、沖縄、国総研	13時30分
2	宇城市※2	市長、副市長、建設部長	北海道、関東、北陸、中国	9時
3	宇土市※3	市長	関東	11時
4	菊池市	市長	近畿	9時
5	合志市※4	市長	沖縄	8時50分
6	菊陽町	町長、副町長、総務部長、総務課長、産業建設部長、建設課長	沖縄	11時
7	大津町	町長、土木部長、土木部次長	中部	10時
8	阿蘇市	副市長、総務部長、土木部長、建設課長、建設課長補佐	中部、国総研	9時
9	南阿蘇村	副村長、総務課長	九州、国総研	11時
10	産山村	村長、建設課長	九州	8時30分
11	西原村	村長	九州、国総研	11時
12	益城町	町長、総務課長	九州、国総研	9時30分
13	嘉島町	町長、建設課長	沖縄	13時

※1:市町村対応者は現在調整中ですので、今後変わることがあります。

※2:松橋庁舎

※3:宇土市民体育館

※4:合志庁舎

北海道開発局提供



関東地方整備局提供



北陸地方整備局提供

中部地方整備局提供



近畿地方整備局提供



中国地方整備局提供

四国地方整備局提供



沖縄総合事務局提供



九州地方整備局

2016. 4. 20 10:35

土砂災害危険箇所の緊急点検実施概要

『土砂災害現地調査チーム』による土砂災害危険箇所の緊急点検結果について ～二次災害の防止や警戒避難体制への活用が図られます～

<目的>

熊本県からの要請を受けて、「平成28年熊本地震」後のさらなる土砂災害の防止、及び今後の警戒避難、応急的な対応に資することを目的に、緊急度の高い危険箇所に対し、TEC-FORCE（土砂災害現地調査チーム）による土砂災害危険箇所の緊急点検を実施しました。

1. 点検期間

平成28年4月19日（火）～4月27日（水）

2. 点検体制

北海道開発局、関東地方整備局、北陸地方整備局、中部地方整備局、近畿地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局の各緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人土木研究所の土砂災害専門家

3. 点検内容

（1）点検対象箇所

震度6強以上を記録した市町村を中心に、緊急度の高い危険箇所 約1,100箇所
（熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、大津町、菊陽町、産山村、西原村、南阿蘇村、嘉島町、益城町）

（2）調査内容

- ・河道閉塞や崩壊、地すべりの発生状況
- ・溪流内における不安定な土砂、流木の堆積状況
- ・人家周辺の斜面の変状（崩壊の発生等）

4. 点検結果

（1）地上調査又はヘリ調査により各危険箇所について、下記の『危険度』を評価しました。

A：応急的な対策が必要な箇所

B：当面巡視等の警戒の強化が必要な箇所

C：特に変化はなく緊急度は低いが、降雨状況によっては注意を要する箇所

（2）点検結果

土石流危険溪流

地すべり危険箇所

急傾斜地崩壊危険箇所

※ABC評価については、精査中の為、当日公表します。

※本調査は一定の保全対象を有する土砂災害危険箇所の調査を優先して実施したものであり、本調査対象箇所以外においても崩壊等のおそれがありますので御注意願います。